



7月うぶやま天文台星空情報 3

月末再び月が火星、木星に接近



7月30日～8月1日かけて、未明の東の空で約1等級の火星と-2等級の木星が存在を示しています。7月の初めからこの2つの惑星を通過した月は、約27日の周期で天球上を1周し、月末に再び近くに戻ってきます。

30日は、月はプレアデス星団(M45:スバル)と双眼鏡の同一視野で見られる程度に接近します。この日は、月は赤く輝く火星の西側に見えています。

31日になると、東に進んだ月は火星を乗り越えて木星と並んで見えます。明るい惑星と欠けた月の会合は夜明け前の空で目を楽しませてくれる光景です。また、それと同時に、およそ1ヶ月弱で繰り返す位置関係から、地球の周りを公転する月の移動や惑星が日々少しずつ早く昇るようなことに気づく機会にもなることでしょう。

未明から早朝にかけての現象ですので観察会はいりません。

【月が土星に接近】

